

～町長3期目就任ごあいさつ～

定住対策へ総力戦で！



周防大島町長 椎木 巧

私は、この度の町長選挙におきまして、無投票により3期目の町政を担わせていただくことになりました。周防大島町が直面している課題の重さと町民の皆様の期待で身の引き締まる思いであります。

これまでの2期8年を振り返ってみますと合併当初からの一番の課題は財政の健全化でありました。町民の皆様にもご協力いただきながら大胆な行政改革を徹底し、取り組んだ結果、ようやく中期的な財政運営に目途が立ったところでありますが、今一番の課題は人口の減少対策であります。定住対策を第一に掲げ定住に繋がる施策、政策は何でもやるという覚悟で取り組んでまいります。観光交流人口100万人構想、交流から定住へ、そして地域で頑張っておられる方も移住定住された方も誰もが主役になって活躍できる周防大島町を目指していききたいと思います。

第二番目は防災対策であります。学校や病院の耐震化100%を達成し、全戸に屋内子局を設置した防災無線やケーブルテレビの整備、町内18カ所の防災備蓄倉庫の整備を進めてきました。しかし、東日本大震災や広島土砂災害、熊本や鳥取の地震など自然災害の恐ろしさを身近に感じております。実効性のある自主防災組織

を全地域で組織し、周防大島町でどのような災害が起きようとも一人の犠牲者も出さないことを第一に防災対策の充実に努めてまいります。

第三番目は高齢化率50%を超える高齢化社会の中で健康づくりは大変重要であります。周防大島町はお元気な高齢者が多い生涯現役の町であります。更に、健康寿命を延ばす取り組みを進めます。

これから私が担わせていただく4年間は、周防大島町政にとって大きな転換期を迎えることとなります。合併後、旧町からの引き継いだ懸案事項や四町の一体感の醸成に向けた取り組み、財政の健全化など一定の効果は出てまいりましたが、合併から10年を経過し15年で合併による国からの財政支援が終了します。このような財政環境の変化に耐えうる行財政運営を目指し、今まで以上に行政の効率化、簡素化に努め、持続可能な行財政運営に取り組まなければなりません。町民の皆様のご協力をいただきながら「まじめに、誠実に、地道に、謙虚に、そして確実に」をモットーに町政を推進してまいります。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。終わりに、町民の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。町長3期目の就任のご挨拶といたします。